

海外派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 9/1~9/30)

1. 勉学の状況

始めに、私がレジャイナ大学に留学した理由として、英語の能力を高めたいということと、心理学的な側面から社会で起こっている出来事を観察し、根本的な解決方法を考えられるようになりたいということがあります。元々、難民問題に興味があり、派遣留学の面接時点ではシラバスに移民・難民関係の授業があったため、その授業を履修するのを楽しみにしていたのですが、今年はその授業が行われないという事で上記のような目的で心理学をメインに履修することにしました。心理学の200番台(導入の次)レベルの授業を冬学期に履修するために、今学期は心理学の導入的な授業を二つと、国際関係学を履修しています。心理学の授業では暗記が中心で、現在は心理学の歴史、研究作法や、脳・神経の構造、発達心理学などの分野を学んでいます。教科書が辞書のように分厚く、予習で読み進めるのにとっても時間がかかります。出てくる単語も専門的なものが多いので暗記が大変ですが、内容は興味深いです。国際関係学は、現在の国際社会を様々な学問分野の領域を組み合わせる俯瞰するというような内容です。現在問題となっている大きなトピックを違う観点から見っていくのが面白いです。実際に自分の政治的立場を測ったり、自分のような生活様式だとどれほどの環境破壊を行っているのか計算したりなど、自分の視点も忘れずに授業を行ってくださる教授の姿勢が好きです。心理学の授業に関しては、もうすぐ第一回目の中間試験があるので、暗記を中心に頑張ります。

2. 生活の状況

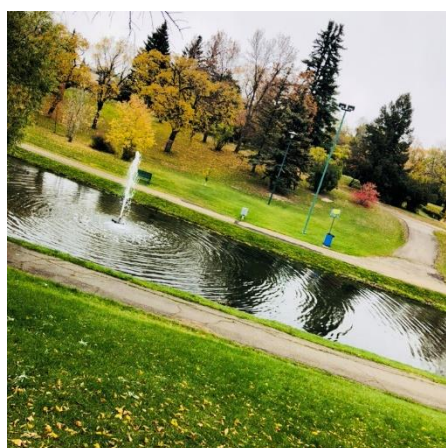
私は今学期が始まる前にホームステイをして3週間のESL(English as a Second Language Program)に参加していたため、寮への移動はとてもスムーズでした。私は6人部屋に住んでおり、キッチン、バスルームは共用です。中国出身のルームメイトが3人、カナダ出身のルームメイトが2人という構成です。私を含め、アジア人の割合が高くとても驚いています。ルームシェアはトラブルが多いと聞いて心配していましたが、みんなとてもいい人で、問題なく生活しています。ルームメイトの一人は料理が大好きで、たまにお菓子を作ってみんなに配ってくれます。また、自分の国の料理を作って、ちょっとずつ味見したりと、楽しく暮らしています。もしレジャイナ大学に留学する人がいたら、College West という寮をおすすめします。私もこの寮に住んでいるのですが、新しくリニューアルされたばかりで新築のように感じます。さらに、大学内にあるので冬も外に出る必要がなく、エレベーターを降りたらもう廊下、そのまま教室まで5分で行けるという感じです。慣れるまで変な感覚でした。前から留学していた千葉大学の先輩、ホストファミリー、ルームメイトなど周囲の人に恵まれて、新しい友達もできました。また、予想以上に日本人がいて驚いています。私は千葉大学でアルティメットというスポーツをしていたのですが、レジャイナ大学でもアルティメットチームに所属して

います。来月に行われる Nationals というカナダ全土の大学チームが参加する大会に向けて、週に3回練習を行っています。コーチ、チームメイトがとても親切で、英語が自由に使えない私もチームに入れてくれて、戦術を説明してくれたり、サポートしてくれてとても有り難いです。ただ、プレー中に言いたいことが上手く伝えられないのがとてもむずかしいです。また、今月は自分の誕生日があり、いろんな人におめでとうと言われてとても嬉しかったです。特別な20歳の誕生日になりました。今月の最後にはもう初雪が降りました。まだ9月ですが日本の真冬並みに寒いです。早く冬用のコートを買に行こうと思います。

日本料理屋さん連れて行ってもらいました。そこそこおいしかったです。



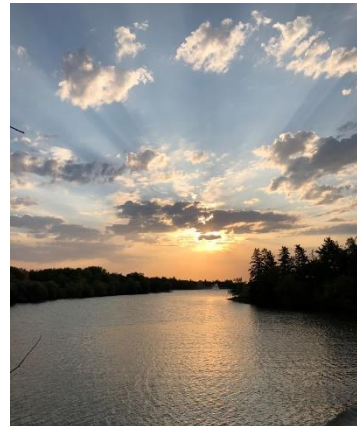
Moose Jaw という Saskatchewan で四番目の街に行きました。



ルームメイトと親子丼を作りました。



大学から近い所に湖があります。
レジャイナの空はとても大きくて、澄んでいます。



休日はランチを外に食べに行く人が多く、朝からお店が混雑しています。



RAMS というレジャイナ大学のフットボールチームのホームゲームを見に行きました。



海外派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 10/1~10/30)

1. 勉学の状況

今月の初めに心理学の授業の第一回目の中間試験がありました。私は心理学の授業を二つとっており、その両方とも試験がありました。どちらも回答方式が主に選択式なので、ライティングが苦手な私にとっては有り難かったです。ただ、問題を読むのに時間がかかったり、問題の意味が明確に分からなかったりといった問題はありました。暗記を頑張った甲斐もあり、平均点は上回ることができましたが、かけた時間と点数が見合っていないと感じて少し悔しかったです。国際関係学では、レポート課題が課されました。Globalization report というもので、各自が調査する国を決め、その国が現在から過去40年間のあいだで政策、経済、文化などの点でどのように変化したかを述べるというものです。それを元にグローバル化の結果による勝者と敗者を考えます。レポートを書くにあたって、資料を調べる段階から、とても時間がかかり、苦戦しました。やっとレポートを書き終えたと思ったら、もう第二回の心理学のテストが待ち構えています。今回は範囲が広いので、頑張って勉強します。

2. 生活の状況

今月は第一回の中間試験が終わった後すぐに、アルティメットの大会がありました。飛行機で三時間程かけて、チームメイトと試合会場のオンタリオ州まで向かいました。Canadian University Ultimate Championship というたぶん大きな大会（他の大会に行った事がないのでよく分かりません。）でした。チームの試合中の雰囲気がとても良くて、いっぱい励ましてもらったり、励ましたりして3日間みんなと思いきりプレーできたのが本当に楽しかったです。これがシーズンの終わりの大会らしく、今は練習がないので既に寂しいです。今月は他にもイベントがたくさんありました。まず、Thanks giving という感謝祭がありました。これはたまたま知り合ったカナダの学生さんに誘ってもらい、家にお邪魔して家族や知り合いの人たちとターキーを食べました。普段自分で作る貧相な食事しか食べていないので、本当にごはんがおいしかったです。見知らぬ日本人学生をこんな風に家族のイベントに招待してくれた事が嬉しく、心の優しい人達だと感じました。今月末には、ハロウィンパーティーがありました。バスで街を走っていると、たくさんの家の庭がハロウィン仕様になっていき、パーティーショップでは仮装のコスチュームなどがたくさん売り出されていました。日本ではこんな風は大々的にハロウィンを祝うことが少なくとも自分にはなかったので、街全体がお祭りムードになっていく感じが好きでした。私もホームパーティーに参加させてもらって、この歳でtrick or treat をしに近隣の家を回りました。お菓子をたくさんもらえて嬉しかったです。勉強が大変だと感じることもありますが、楽しい事があるおかげで頑張れています。

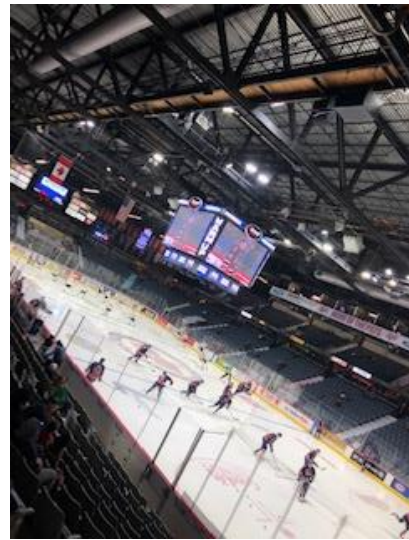
アルティメットの大会の様子



Thanks giving



初めてアイスホッケーの試合を見ました。



寮のお隣さんが焼いてくれました。



海外派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 11/1~11/30)

1. 勉学の状況

今月の初めに、第二回目の中間テストがありました。今回は心理学のA, B両方のクラスとも同じ日程での試験だったので、テスト勉強が大変でした。一回目とテスト様式は同じで、ほとんどが選択式の問題だったのでライティングで困ることはありませんでした。今回は授業の項目を分類して覚えるようにしてテストに挑んだのですが、前回よりもAのクラスの得点が10%以上上がってとても嬉しかったです。心理学は入門の授業と言うこともあり、感覚と受容など、一見すると心理学なのかと思ってしまう分野も含まれているのですが、中には日常生活で共感するものも多く、興味深いです。ただ、教科書が分厚く、一通り読むのに時間がかかります。

今月の終わりには国際関係学のresearch essayの締め切りでした。今回はお題をいくつかの中から選んで書くというものでした。私はグローバル化と文化の均質化について、日本を調査対象として選んで書きました。このエッセイは4枚以上で、文献を五つ以上見つけなければなりません。文献はpeer-reviewのものに限るだとか、コピーを防ぐために専用のサイトを通じて提出するだとか、ライティングに関しては日本よりも厳しいです。この授業の教授がとても親切な方で、授業で分からなかったことや、授業以外の事をオフィスアワーに聞きに行ったりしています。その縁で、教授が担当している他の授業で、ゲストスピーカーとして、実際に難民としてシリアからカナダに逃れてきた生徒さんの話を聞く機会がありました。実際に体験した人の話は心に突き刺さるものがありました。また、その方はシリアについて‘紛争ではなく市民による革命なのに、他国が介入してきて自分たちが始めたこととは全く違う方向に進んでいる’という話もしておられて、自分の認識の間違いにも気づきました。とても貴重なお話でした。

2. 生活の状況

今月は中間テストの後に一週間弱のFall breakがありました。私はレジャイナにとどまってるんびり時間を過ごしました。ランチを食べに行ったり、カフェに行ったりしました。中でも、猫カフェがとてもお気に入り、今月だけで二回も行きました。また、Girl's nightというパーティーに行きました。日本でいう女子会みたいなものです。この大学では日本語の授業が開講されており、さらに、日本にかつて留学していた生徒さんも数名いて、よくホームパーティーに呼んでくれます。

話が変わりますが、今月から大学のアルティメットチームの練習がないため、地域のアルティメットクラブに参加する事にしました。知らない集団の中に入って行くのは、はじめはとても緊張しますが、いろんな人（ほとんどが社会人）とスポーツを通じて知り合えて嬉しいです。屋内のカジュアルなアルティメット大会にも参加しました。運動する機会もできて、一石二鳥です。

レジャイナの気候は、今月の真ん中くらいから日中でもマイナスを超えることがなくなり、気の枝すらも凍っています。寮が大学と連結しているので普段の生活は快適なのですが、外に出るととても寒いです。来月はいよいよ Final exam が待ち構えているので、体調を崩さないように頑張ります。

レジャイナにあるカフェ



氷の世界



家やお店はもうクリスマス仕様です。



派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 12/1~12/31)

1. 勉学の状況

今月は私が履修している全ての授業の final exam がありました。どの授業でも、試験時間は三時間で、早く解き終わった人から退室するという流れでした。心理学の授業は二つとも中間試験と問題形式はほぼ変わらず、選択問題と少しの記述という様式でした。国際関係学は中間試験がなかったため、初めての試験でした。出題形式は、定義と単語をマッチさせる問題、授業の小テストの中から数問の選択問題、短めの記述問題とエッセイのような長い記述問題でした。教授が留学生に電子辞書の持ち込みを許可してくださったため、書きたいことをすべて書く事ができましたが、文を組み立て、考えるのに時間がかかり、退出したのは最後から三番目くらいでした。

今回のテストは、授業が一週間前くらいに終わり、すぐにテスト期間に入る所以勉強する時間はたくさんありましたが、勉強時間の配分を間違えてしまい少し大変でした。具体的に、私は記述が苦手なので、国際関係学ばかり復習していましたが、そのテストは全体のグレードの 25% でした。一方、一番最後にあった心理学のテストは全体グレードの 40% でした。私はその事に気がつくのが遅れて、テスト前日にほぼ徹夜で詰め込む形になってしまいました。来期はシラバスをよく見て、慎重に計画を立てようと思いました。

2. 生活の状況

今月は、最終試験が終わるまでの期間はご飯を食べに行ったりする以外、ほとんど大学にいました。レジャイナ大学の図書館は普段は午後 11 時に閉館なのですが、テスト期間は午前二時まで開館していました。ほかにも、寮の中に勉強できるスペースがあったりと、環境がかなり整っています。私は、ずっと同じ場所だと飽きてしまうので場所を変えながら勉強していました。

また、日本からの交換留学生以外のほとんどの交換留学生は 1 タームで帰国してしまうため、多くの友達とお別れしました。テストも控えていて、友達との別れもたくさんあり、感情がとても忙しかったです。特に韓国からの留学生とは一緒に図書館で勉強したり、料理を作りあったりと、いつも一緒にいたのでとても悲しかったです。一週間で何回もお見送りをしに空港へ行きました。せっかく仲良くなった友達がいなくなってしまうのはとても悲しいです。

テストを乗り切った後は、待ち焦がれた冬休みです。私はアメリカに旅行に行きました。行きたい場所がすべて東海岸側だったため、すべて回ることに決めました。ミシガン、ニューヨーク、フロリダに行きました。昔のホストファミリーに再会したり、千葉大からアメリカに留学している友達に再会したりと、とても楽しく、充実した旅行でした。思いっきり冬休みを満喫できたので、これを糧に冬学期も切り替えて頑張っていく

たいと思います。

プーティーン (カナダの代表的な食べ物)



クリスマスには友達とシークレットサンタをしました。



アメリカのホームステイ先で本格的なクリスマスをお過ごししました。



年越しはニューヨークのタイムズスクエアで過ごしました。12 時間以上待つのはとても大変でした。





冬休みにフロリダのディズニーワールドに行きました。東京とは比べものにならないくらい大きかったです。

派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 1/1~1/31)

1. 勉学の状況

今月から新たに winter semester が始まりました。今セメスターでは social psychology, introduction to anthropology, leisure and recreation theory をとる事にしました。Social psychology は 200 番台の授業で、前期に introduction to psychology A,B を履修したおかげで今学期とる事ができました。ただ、一つレベルが上がったということでエッセイの長さが 10 ページ以上になりました。授業登録変更日の直前までもう一つ心理学の 200 番台をとろうかと迷っていましたが、課題の量と聴講不可ということで諦めることにしました。

Social psychology は社会や他人の存在がどのように個人の認識、思考、行動に影響を与えているかということの研究する学問です。自分自身に当てはまる事がたくさんあり、とても興味深く、他人についての認識が自分の中で少し変化したように感じます。Anthropology は人間の文化について主に研究する学問です。教授がとても情熱的で、授業を受けていると自分の今までの概念がグラグラとゆらされるような衝撃を受けます。面白い授業ですが、ほぼ口頭授業なので、試験が心配です。英語で抽象的な問題を考えるのは特に難しいと感じました。この授業でたまたま隣に座っていた生徒さんがノートを共有してくださって、とても助かっています。Leisure の授業は、自分がレジャーや休日などが好きなので履修してみることにしました。主に歴史や、レジャーと健康、文化などレジャーにまつわることをたくさん学んでいます。クラス内にたまにあるアンケートでは、いろんな人の考えを知れて面白いです。今学期の授業内容は先学期よりも自分にとって面白いと感じるものになりました。

2. 生活の状況

そろそろ本格的に寒さが厳しくなってきました。気温が-20℃以下の日が増えてきました。私は一つの授業だけ別の建物で受けているので、ほんの少しだけ外に出ますが、肺が苦しく感じるくらいに寒いです。私はアウトドア派なので、外に出れないのが結構きついです。たまに大学に閉じ込められているように感じます。ただ、今学期もアルティメットチームに入っているおかげで毎週日曜日に屋内サッカー場で思いっきり運動できています。また、新たに大学内でチームを組んで参加するトーナメントが始まり、そこにも参加しています。他には、WUSC という主に難民としてレジャイナ大学にやってきた生徒さんをサポートする団体にも所属しています。受け入れは秋なので今はあまり大々的に活動していませんが、ミーティングなどに参加しています。新しくやってきた交換留学生の友達もでき、新たに繋がりができて嬉しいです。今学期の始めは、また一学期始まるのかとすこし沈んでしまいましたが、勉強も勿論、その他の事にもいろいろ挑戦してカナダで過ごせる時間を大切に生きていきたいです。

レジイナで一番お気に入りのレストラン
朝食と昼食がメインのお店で閉店時間が早
いです。



スノーボードをしました！
とてつもなく寒かったですが楽
しかったです。



派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 2/1~2/28)

1. 勉学の状況

今月は anthropology の中間テストが月の始めにありました。この授業はとても興味深いのですが、心理学に比べて“この理論だからこうだ”というように明確に定義できる学問ではないため、テストに備えるのが難しかったです。テスト形式は、穴埋めや選択問題、○×問題やショートアンサーで簡単そうに思えるのですが、今回のテストが今まで受けたテストの中で一番くらいに難しいと感じました。使われている単語が難しく、さらに選択文の違いが微々たるものだったというかんじです。教授にお願いして辞書の持ち込みも許可していただいたのですが、テスト時間が短くて、ほとんど活用できませんでした。自分なりにこの授業は時間をかけて勉強してきたつもりだったので、すこし落ち込みましたが、点数は思っていたほど悪くはなかったので良かったです。また、recreation & leisure theory のクイズ (小テストみたいなものです) も一回ありました。クイズ一回分は授業評価の%で見ると少ないですが、意外と暗記と時間を要するので評価と釣り合わないなと思いながら毎回受けています。今月は一週間の winter break があり、それほど勉強に追われることはなかったように感じます。ただ、break 中にもできる限りエッセイや復習に取り組みました。気持ちが乗らないときは、カフェに行くなど場所を変えると案外集中して頑張ることができました。4月提出のエッセイも進めることができたので、少し気持ちに余裕ができました。

2. 生活の状況

今月の前半は本当に寒かったのですが、後半になってすこし寒さがましになってきたような気がします。気がつけば-17°Cでもあまり寒くないと感じている自分がいて驚いています。新しくカナダに来た韓国やメキシコからの交換留学生ともだんだんと仲良くなってきて、一緒に料理をしたり、ご飯を食べに行ったり、たまに飲んだりできて嬉しいです。一週間の休みも、帰国時の旅行のための節約と思い、レジャイナにとどまりました。レジャイナにいと食べる事くらいしかする事がないので、休みの期間中はおいしいものをたくさん食べました。食べ過ぎのためか一度体調を崩しましたが、その日のうちに回復したのでなんとありませんでした。最近、友達のまた友達のホームパーティーに呼んでもらったりして、新しい人と関わる機会をもらって嬉しいです。気がつけばもう2月があつという間に過ぎてしまって、残り2ヶ月足らずとなってしまいました。改めて貴重な機会を頂いていることに感謝して、最後まで充実させていきたいです。

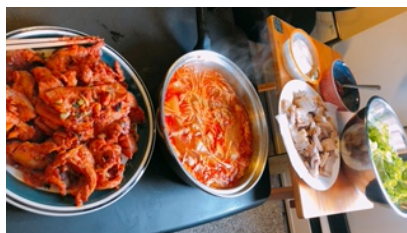
シルクドソレイユがレジヤイナに来ました！
チケットが安くて、本物かどうか疑いましたが、
クリスタルという氷の上で上演するもので、すご
く良かったです。



熱湯が空中で凍るか実験しまし
た。凍りました。



湖の写真です。どこが境界なのか
分かりません。



←韓国料理と↑メキシコ料理。
それぞれ友達が作ってくれまし
た。

派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 3/1~3/31)

1. 勉学の状況

今月は、クイズがあったものの、特に大きな試験はありませんでした。一方、社会心理学と anthropology のエッセイの提出が迫っていたので、課題が忙しかったです。

Anthropology のエッセイの内容は地球温暖化についてでした。バックグラウンドリーディング（地球温暖化についてと、心理学について）を読んで、自分と違う意見を持っている人達にどのように訴えかけ、変化を促すことができる文章を書けるかというお題でした。これは public anthropology project といって、ウェブ上で北米のいろんな大学の学生が参加しているプロジェクトでした。自分のエッセイをプロジェクトのサイトにアップし、実際に学生どうしで評価し合い、優秀な作品を出版するというものです。“どのように人の心を動かすように情報を伝えるか”ということにここまで焦点をあてて考えたことがなかったので、面白かったです。また、実際にバックグラウンドリーディングの心理学的手法を実践する場にもなりました。どれだけ多くの事実を提示しても、相手を否定するだけでは逆効果になってしまうそうです。類似点を見つけて、理論を上手く相手の身近なものに当てはめられるかが鍵となります。

社会心理学のエッセイは授業で習ったコンセプトを、現実世界の例を交えて説明するというものでした。映画やドラマ、歌詞の内容など、心理学的理論が働いている場面を探します。これは10枚以上という長いエッセイだったため、先月から書き始めてました。いろんな情報をAPA形式でリファレンスするのが結構大変でした。インフォーマルな書式で書いて良い課題だったので、少しばかりフォーマルなものよりは楽でしたが、とても時間がかかりました。状況説明など、思っていたよりも難しく、ライティングのスキルの上達があまり感じられなくて少し落ち込みました。ネイティブの友達に見直しなど手伝ってもらって、最終的に23ページ書きました(表紙やリファレンスも含め)。終わったときはとても達成感がありました。

今月の終わりにレジャイナ大学でストライキが起こりかけました。もし本当に起こったら学期末試験や今後の授業の予定が全て狂ってしまう事になり、航空券など既にとっていたので心配でした。しかし、協議をかさねた結果、双方の合意が成立して何も起きませんでした。何事もなく良かったです。

2. 生活の状況

今月はいろんなイベントに参加しました。大学の運動系クラブの一員としてファンドレイズイベントに参加したり、1年の締めくくりの Banquet に出席したりしました。Banquet ではみんなスーツやドレスを着て正装していて、すごく素敵でした。また、アルティメットチームのファンドレイズで、レストランを借りてブランチファンドレイズを開催しました。月の中旬には難民支援の学生団体(WUSC)のイベントにもボランティア

として参加しました。私はただ設営をただけでしたが、メンバーのみんなは入浴剤の手作り体験を通して募金を集めたりしていました。大学でも international night というイベントがあり、本当にレジャイナにはいろんな国にバックグラウンドを持つ人達がいるんだと再確認できました。今月の終わりには、私にとって最後のアルティメットの大会がありました。一つ隣の州まで車で8時間かけて行きました。こんな風にチームメイトと過ごせるもの最後かと思うと、とても寂しかったです。エドモントンのとても大きなショッピングモールにも寄ることができ、大会でも二位に入り、とても充実した週末となりました。

来月が最後の月だなんて未だに実感が湧きませんが、最後まで楽しみながら大切に日々を過ごしていきたいと思います。



WUSC のイベント



West Edmonton mall



アルティメットの大会



VCAB awards banquet

派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 4/1~4/30)

1. 勉学の状況

今月は冬学期の最終月のため、エッセイ課題の提出がいくつかありましたが、前もって進めていたおかげでそれほど忙しくなることはありませんでした。期末試験はしっかり全科目でありました。今月の2週目くらいには授業が終わり、テスト期間に入りました。テストのスケジュールが、テスト期間最初の週に連続で2科目、そこから1週間空いて最後の科目という日程だったため、1週目は勉強に追われました。文化人類学は Amazonian cannibalism についてのエスノグラフィーの本を丸ごと一冊、Recreation & Leisure theory は授業の全範囲だったため、内容が多すぎてどこから手をつけるべきかと困りました。教授が共有してくださった補助教材を使用したり、自分でもう一度内容をまとめ直したりしてテストに挑みました。最終科目は社会心理学でした。一週間勉強する時間があると思っていましたが、テストが終わった次の日には寮を出ないといけないということで、荷造りに追われ、気疲れしました。2時間程かけてテストが終わった後は、すっきりした気持ちになりましたが、まだこの大学を明日出て行くという実感はありませんでした。無事に全ての授業を終わることができて良かったです。

2. 生活の状況

今月の終わりにはレジャイナを出て行くということで、“最後”となる出来事が多く、そのたびに悲しい気持ちになりました。授業を受けるのも最後、アルティメットの練習に行くのも最後、友達に会うのも最後、8ヶ月お世話になった部屋で生活するのも最後というようにとても感傷的な気分になりました。レジャイナも天気が良くなってきたので、交換留学生の友達とピクニックをしたり、湖でハイキングをしたりしました。私は初めて湖に行ったのですが、とても緑豊かで、きれいで、気に入りました。秋の紅葉の時期にも行っておくべきだったと後悔しました。他には、帰国する前にと、友達と好きだったレストランやカフェに行きました。アルティメットでは、特に仲良かったチームメイトとランチに行きました。お店に入るとサプライズでその友達以外のチームメイトが居て、お別れ会をしてくれました。スポーツを通じて素敵な友達に出会えて、幸せだなと感じました。テストと荷造り、友達へのお別れと忙しくしていたらあっという間に最終日になりました。テストが終わった次の日に寮を出ないといけないということで、私は翌日の朝のフライトをとっていました。そのため、テストが終わってから休む間もなく荷造りに追われました。時間がなくて本当に焦りました。荷造りを続けていると、友達にご飯を作って持ってきてくれました。とても嬉しくて、有り難かったです。結局その日は夜通しで時間ぎりぎりまでパッキングをしていました。大学で友達が見送りに来てくれましたが、焦りすぎて悲しむ暇もありませんでした。空港について、受託荷物を預けて用意が全て完了し、お見送りに来てくれた友達にあったら、突然感情が押

し寄せてきて、涙が止まりませんでした。せっかくレジャイナの生活に馴染んできた時に帰るのは、すごく惜しい気がしました。短期の語学留学を含めて9ヶ月レジャイナにいましたが、今となってはすごく後という間だった気がしています。このような留学の機会を与えて頂いて、感謝の気持ちで一杯です。大変な事もありましたが、日本にいたら出会わなかったはずの多くの人に出会えて、さらにカナダという国が一層好きになりました。勉強以外でも実り多い留学生活にできたのではないかと思います。

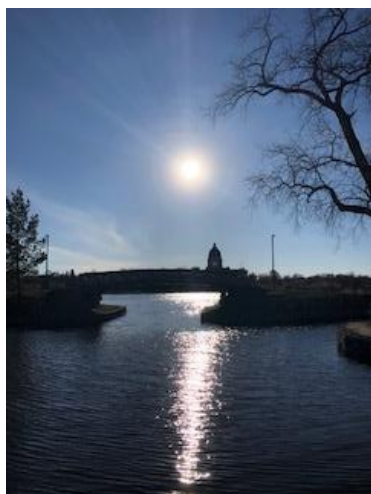
大学内の芝生でピクニック



最後のアルティメットの練習にて



ワスカナ湖（一応徒歩圏内）



サプライズブランチ



丘からの夕日

